

2017年1月16日

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

「ジャパンラグビー トップリーグ 2016-2017 年間表彰式」に AIG ジャパン代表がプレゼンターとして登壇 新たに AIG 賞（最多試合数レフリースター賞）が創設

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社（以下、AIG ジャパン）は、2017年1月15日に開催された「ジャパンラグビー トップリーグ 2016 - 2017 年間表彰式」にて、今年から AIG 賞（最多試合数レフリースター賞）が創設され、代表取締役社長兼 CEO のロバート・ノディンがプレゼンターとして参加したことをお知らせします。



AIG ジャパンは、2016年に「ジャパンラグビー グラスルーツパートナー」としてのスポンサー契約を更新しました。小学生を対象にしたラグビーの普及活動を含め、自国開催の大きな国際イベントが控える日本ラグビー界を継続して支援し、日本でのラグビー普及の貢献に取り組んでいます。

また、AIG のラグビー支援は選手育成に留まらず、日本ではまだ少ないレフリースターの育成にも及びます。レフリースターの育成による競技力の向上からラグビー人気の高まりも期待し、2014年から「ジャパンラグビー レフリースター育成パートナー」を務めています。

今回開催されたジャパンラグビー トップリーグの年間表彰式は、その年に活躍した個人、チーム、レフリースターなどを表彰する場で、今年も日本ラグビーを代表する面々が表彰されました。

ジャパンラグビー トップリーグ 2016-2017 においてレフリースターとアシスタントレフリースターを合算して最も多く担当し、今シーズン、多大なる貢献をした者に贈られる賞「最多試合数レフリースター賞」が今年より創設され、その名称が「AIG 賞」と名付けられました。初めて AIG 賞を受賞した梶原 晃久氏に、プレゼンターである AIG ジャパン代表のロバート・ノディンが記念盾を授与しました。梶原氏は「素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。来シーズンも受賞できるよう、レフリースター力の向上に努めます」と受賞の喜びをコメントしました。

ロバート・ノディンは、「ラグビーはあらゆる意味で正にチームスポーツであり、レフリースターも重要な役割として試合に参加していると思います。試合中にチームキャプテンとのコミュニケーションを通じて、試合をより面白く展開させる素地を作るという素晴らしい役割を果たしています。AIG ジャパンは日本ラグビーへの支援の一環として、今回の表彰などでレフリースターの育成をサポートすることを誇りに感じています」と述べています。

AIG は、グラスルーツ（草の根レベルの活動）から国際試合レベルにおいて今後も世界規模でのラグビーの普及活動を支援してまいります。

<AIG について>

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、100 以上の国や地域で顧客にサービスを提供

しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、リタイアメント商品およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc. はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

日本では、現在、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIG 富士インシュアランスサービス株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。

詳細は、ウェブサイトwww.AIG.comをご覧ください。